



ふくしま農業女子ネットワーク会員紹介一覧

会津地方

名前	地域	主な生産物	ホームページのリンク	SNS(公式LINEやInstagram)等のアドレス又はQRコード	就農のきっかけ	これからの目標
武藤 藍	会津若松市	メインはミニトマトを約10品種、夏秋栽培。他には雪下人参、スナップエンドウ等。夫を中心とし、土と微生物へのこだわりや竹パウダーを使った栽培方法で「おいしい」農産物をつくり、たくさんの方に届けられるようサポートしている。	http://ameblo.jp/bloomworks/		山梨出身。エアライン専門学校卒業後、長野と東京のサービス、観光旅行、金融業界で就業。2人目の出産を機に夫の実家の農業を継ぐべく2011年3月に福島に移住。	4人の子育てをしながら、農作業と英会話講師の仕事の両立と、国際交流活動にも積極的に参加。今後はおいしい野菜をどんどんつくって販路を拡げていくことと、「農業と観光」「農業と子育て」などのコラボを楽しんでいきたい。
ボンド 亜貴	喜多方市	アイガモ農法による水稻栽培。カレーやリゾット用のお米、玄米コーヒーも販売している。	http://sutou-nousan.com/		11年くらいポーランドで美術の勉強をしていたが、東日本大震災が起きたことと友達が白血病を発症したことから、オーガニックなものを作りたいと考えるようになり、就農することを決めた。	食品に興味をもってもらえるような、料理が楽しくなるような商品を作りたい。一手間加えるだけなど簡単に作れるものを提供したい。
佐々木 美穂	会津坂下町	きゅうりを中心にしながら、JA出荷と併せて直売所や近くのスーパーにも出荷しており、きゅうりの質の向上へのこだわりはもちろん、品揃えなども考えて、色々な野菜にも取り組んでチャレンジしているところ。			震災1年前に夫が、農業をやりたいと脱サラして就農したことがきっかけ。農家では無かったので、品目選定や農地の確保など地域の方々から協力いただいて、きゅうりを中心とした経営を開始した。	小さな規模でも安定して稼げる農家を目指して、経営力を向上し、今後きゅうり農家を目指す若手育成や地元の発展、女性目線の経営で新たな取り組みをしたい。
木村 貴華子	会津若松市	トマト、プロッコリーを主軸として多品目を小ロットで作っている。直売所やスーパーへの出荷の他、市内3カ所で対面販売も行っている。			家がもともと農家。東京で18年営業の仕事をした後、実家に戻り就農。	農業以外のイベントを畑で開催し畑のよさを知ってほしい。女性が経営を勉強できるようになればいいなと思う。
清水 亜紀子	湯川村	夏から秋にかけて約40品種の野菜（葉物、ズッキーニ）を栽培している。手作りのPOPで道の駅に出荷している。			会津若松市出身。OLとして働いた後35才で退職。求人を探しているときに職業訓練の中に農業を見つけ有機農家で研修した。現在は畑を借りて農業をしている。	生産を安定させ、出荷先との連携、販路の拡大を図りたい。
田部 瞳	大沼郡三島町	黒毛和牛 夏野菜(多品目)			旦那さんの実家が畜産の仕事をしていて、嫁いでそのまま旦那さんの手伝いをする感じで始めました。黒毛和牛の繁殖と肥育をしています。一貫経営を目指しての最中です。その他にも夏から秋にかけて野菜を作っています。	まだまだ覚えなければならない事がたくさんなので、その中で目標をつかみ活動していきたいです。最終的な目標は奥会津牛をたくさんの人に知ってもらう事です。
豊川 智美	会津若松市	弟切草、日本薄荷等のハーブ、余蒔きゅうり等の会津伝統野菜	http://www.rioricodo.com/			
佐藤 昭子	耶麻郡西会津町	米・米加工品・メープルサップ（イタヤカエデ樹液）加工品			嫁ぎ先が農家だったことから。	西会津奥川で産業を立ち上げ、雇用する場を作りたい。



ふくしま農業女子ネットワーク会員紹介一覧

中通り地方						
名前	地域	主な生産物	ホームページのリンク	SNS(公式LINEやInstagram)等のアドレス又はQRコード	就農のきっかけ	これからの目標
齋藤 蘭	福島市	きゅうりをメインとして栽培している。ほか家庭菜園としてトマト、芋類、カリフラワー等をつくり直売所に出荷している。			もともと介護士として働いていたが、結婚を機に義両親がやっていたきゅうり農家を二人で継ぐこととした。	農産物の6次化、加工に取り組んでみたい。また、使いやすくおしゃれな作業着作りにも挑戦中。
景井 愛実	福島市	主にりんごとももを栽培している。ほか、水稻と野菜を作っている。また、スマートジャードバイザーの資格を活かし、マルシェ等への出展も行っている。	http://noujyolab.com/	【Facebook】 https://www.facebook.com/mana_love.berry	りんごとももを作っている農家に嫁ぎ、夫の両親を手伝う形で就農した。	農業に興味を持ってもらえるように農業女子の農産物や活動をもっとPRをしていきたい。
大平 美代子	石川町	トマト、レタス、ほうれん草、ブロッコリー、パプリカなどを栽培。繁殖牛が5頭いる。農業短大で加工の研修を受け6年前に農家レストラン「農園Cafeやい子ばあちゃん」を始める。レストランのお客さんは県内外問わず、ライダーの方が立ち寄ったりも。			家を継ぐことが就農するきっかけ。昔は栄養士として働きながら手伝っていたが、義母が高齢になってきたことから、10年ほど前から本格的に携わるようになった。	里山の景観を利用して民宿を行いたい。ほか収穫体験、ピザ焼き体験等
大内 美千代	福島市	先に夫が研修、就農し、2012年から夫婦で桑折町の農家で研修、2013年に就農。桃、りんご中心であるが、さくらんぼも導入した。			三重県出身。夫がスーパーで青果のバイヤーだったが、くだものに魅了され、売る方から作る方へ転身したいと言ったのがきっかけ。全国で就農できるところを探していた中で、福島県は夫の両親のふるさとであること、果樹の研修受入が整備されていたことから、新規参入を決めた。	大変だと、時間も自由で、外での仕事は心地よい。美味しい果物づくりに、こだわっていきたい。桃やリンゴの6次化も取り組んでいきたい。
渡辺 佳子	須賀川市	和梨をメインに贈答用の西洋梨（ルレクチエ）に力を入れて栽培。さらに2010年桃を導入。和梨に関しては特別栽培の認証を取得。就農後すぐに両親と家族経営協定を締結。就農15年目に自主性のある経営に取り組むため、経営移譲を受けた。以前にもまして責任感を持ち、経営者としての意識改革にもつながっている。		【Facebook】 https://www.facebook.com/watakaiju4174	夫の実家のつくる果物の質の高さに感動。就農のきっかけは、結婚。当初は、職業ではなくお手伝いという感じであった。顧客管理を最初に受け持ち、子供の成長とともに管理作業を覚え、現在では経理も受け持つようになった。	雇用の拡大や研修生の受入などにより後継者を育て、地域の果樹産地の活性化につなげていきたい。
寺山 佐智子	須賀川市	現在両親とスタッフで、贈答桃と桃のコンポートやジャム、露地栽培野菜と無添加漬物や自家製味噌を全国販売する。			農家の長女に生まれ、地元病院で看護師として20年勤務後。実家の農業を継ぎたいと平成19年就農、震災を経験し会社としての運営を意識して、法人化（株）阿部農縁を設立。	倫理法人会女性委員会の委員長として講演会などを企画しています。また、農業から食育プログラムとして伝統食の「味噌、漬物」のお伝え講座や人が集まるしくみ作りとして「阿部農縁 大人の部活動」として農業をライフワークとして楽しむ仕組みづくりを行いたい。睡眠改善インストラクター、食育インストラクター、看護師、ケアマネージャーの資格と経験をいかして人を元気にするお手伝いをしていきたい。
鈴木 陽子	福島市	「うまくて、でっかいの」を合言葉に、桃・りんご・ぶどうを愛情いっぱいに育てています。	https://www.suzuki-fruits.com/	【Instagram】 https://www.instagram.com/suzuki_fruits/ 【Facebook】 https://www.facebook.com/suzuki.fruits/	電機メーカーにて研究開発に従事していましたが、度重なる長期海外出張や単身赴任などを経て、本当に豊かな生活とは何かを考えた末に、夫の実家がある福島での就農を決意しました。安心安全な農場経営を第一に考え、2017年からJGAP認証を取得しています。	1. 次世代を担う若者が就農したくなるような農場経営を実現したい。 2. フルーツを通じて、思わず笑顔になるような瞬間をたくさんの方に届けていきたい。
浜尾 菜津美	須賀川市	水稻をメインにトマト、なす、とうもろこし、葉物野菜等、様々な野菜を栽培している。なすはJAと直売所に出荷し、それ以外の野菜は直売所で販売している。			もともと実家が米農家であり、近所の料理店等で仕事をしながら、両親と一緒に農業をしている。	これからは田をいくつか畑にしてれんこん、山ではやまいりやうども栽培したいと考えている。
柳田 美華	郡山市	今は、自宅の水稻用のハウスで水耕栽培の試験栽培している。4月には、鉄骨ハウスを建てる予定であり、アカミズナ・ルッコラ・レタスなどをメインに栽培したいと考えている。			保育士をしていた。父のすすめで就農した。まだまだ試験栽培で、勉強中。	まずは、技術を身につけていきたい。現在は、ほぼ一人での労力なので、雇用も確保してハウスも増やしていきたい。



ふくしま農業女子ネットワーク会員紹介一覧

稻福 由梨	田村市	無農薬・無化学肥料栽培で、黒米、ひとめぼれ、こがねもち、（水稻 約90a）エゴマ(20a)小麦（ゆきちから）、ブルーベリーなどを栽培。 滝根町特産品の山ぶどう（20a）栽培も始めた。 黒米甘酒、ブルーベリージャム、ブルーベリーと山ぶどうジャム、山ぶどうジュース、エゴマ油、などを販売している。	http://fukufukudou.jp/	【Facebook】 https://www.facebook.com/fukufukudou/	東京生まれの東京育ち。管理栄養士と調理師の免許を有し、学校栄養職員として働いていた。田村市滝根町には田植え体験のイベントで訪れ、その時の田んぼの持ち主と2011年3月に結婚。翌年から移住し管理栄養士として働きながら、農産物加工所を立ち上げる。 2016年4月から、本格的に就農し、地域特産品「山ぶどう」の継承などを行っている。	福島県や田村地域の魅力、農業の魅力、里山暮らしの魅力を、もっと伝えていきたいと考えている。将来は、農家民宿を開業し、農業体験や加工・料理教室も企画・運営し、農業の魅力を発信していく拠点にしたい。
相原 晴美	桑折町	桃、米、リンゴ、柿などを栽培している。			実家が農業を営んでおり、手伝ううちに楽しくなり就農したくなった。	直売を通してお客様とつながり、農業の可能性を模索したい。
小平 美香	古殿町	切り花の菊、アスター、カサブランカなど山間高冷地の気候を上手く利用して褐色の良い花を提供出来るよう思考錯誤している。基本的には自分一人での作業になるが出荷ピークになると10人以上のアルバイトを頼んで収穫と束ねの作業をしている。			道路に面した畑を荒らすわけにはいかず、自分の好きなお花を植えてあげようと6aの畑にアスターの花を植えたことがきっかけで就農することになった。植えた花を畑で枯らすのは勿体無いと思い直売所に出荷をはじめた。今では25aを作付けしている。	仕事をしたいと思う方の雇用と事業拡大をし、消費者の方に喜んでいただけるよう綺麗な花を手頃な値段で出荷したい。 また、フラワーガーデンを作り、お花を見ながらの癒やしのスペースを少しづつ製作しており、皆さんに幸せな空間を提供したいと考えている。
鈴木 侑香	福島市	りんごと水稻に加え、アスパラガス栽培を始める。 りんごの加工品作りを始め、新しい商品開発や梱包・販売の仕方を研究中。 直売所で販売や、駅前にて対面販売を始める。 農業経営に興味があり、経営計画や農業簿記のセミナーに参加。JAさんより推薦を頂き、国税モニターに任命される（2017年より2年間）。		【Facebook】 https://www.facebook.com/shinsen.ringo	結婚を機に果樹農家の後継ぎになることを決意。 夫婦で「認定新規就農者」の認定を頂き、2015年7月より両親からりんごと水稻を引き継ぎ就農。	初めて収穫になるアスパラガスの販路を確立したい。飲食店への納品を計画中。 地元のネット販売会社に登録。福島の商品を全国にアピールしていきたい。
折笠 ルミ子		養蜂農家として義父とともに蜂の世話と蜂蜜販売（5月から10月まで）を行っている。また、野菜、水稻にも取り組んでおり、11月から4月のあいだに野菜を出荷している。		【Facebook】 https://www.facebook.com/rumiko.orikasa	義父が引退を考えたことがきっかけで就農を考えた。現在は義父から技術を教えてもらいながら養蜂を行っている。	地域活性化のため、新しい農法や技術等いろいろ勉強をしていきたい。
佐藤 美千代	郡山市	はちみつ、トマト、メロン			姉がはちみつを作っていたので、興味を持ったため。	
武田 永子	西郷村	水稻			子育てをするなかで、食への関心が高まりました。父の高齢化に伴い、農園を引き継ぐ形で就農しました。	育苗ハウスを活用し、ハーブや野菜の栽培に挑戦していきたいです。



ふくしま農業女子ネットワーク会員紹介一覧

浜通り地方						
名前	地域	主な生産物	ホームページのリンク	SNS(公式LINEやInstagram)等のアドレス又はQRコード	就農のきっかけ	これからの目標
増田 笑	いわき市	両親と共に、水稻とブルーベリーを生産。販売PRや営業なども担当しており、摘み取り園の集客のためにも、農園の情報発信も積極的に行っている。		【Facebook】 https://www.facebook.com/berry-farmiwaki/	小さい頃から実家の農業を手伝っていた。両親の経営している水稻をはじめ、観光ブルーベリー園に、就農しようとしたが、震災があり、躊躇していた。しかし、結婚を機に自らも両親の経営に携わっていこうと就農を決心した。	地域の方と一緒に周年でお客様に来ていただける農園カフェの開設。
大和田 智恵子	いわき市	15年ほど前にブルーベリーを導入し、摘み取り園と加工の取組も始めた。米については、「久保姫の舞」と商標登録し、地域の仲間と共に美味し米作りを目指している。		【Facebook】 https://www.facebook.com/berry-farmiwaki/	嫁ぎ先が農家であったことから。当初は水稻とバラの栽培など取り組んでいた。	「久保姫の舞」を使った加工品のアイテムを増やしていきたい。
遠藤 美喜子	いわき市	主にりんごともを栽培している。ほか、水稻と野菜を作っている。また、スムージーアドバイザーの資格を活かし、マルシェ等への出展も行っている。			嫁ぎ先が農家であったことから就農した。当初は水稻やハウスきゅうりなどを中心の経営だった。惣菜などの加工取組もはじめ、地域の仲間と直売所も開設している。	農業に興味を持ってもらえるように農業女子の農産物や活動をもっとPRをしていきたい。
渡邊 とみ子	飯館村	現在では、いいたて雪っ娘かぼちゃの栽培と加工を主軸に、にんにくやヤーコン等の野菜を栽培している。		【Facebook】 https://www.facebook.com/tomiko.watanabe.5851	福島市松川出身。農家に嫁ぎ、しばらくは兼業農家として水稻と牛の肥育の手伝いをしていた。専業農家となってからは野菜を作るようになり、直売所に出荷するようになり、平成17年にはオリジナル品種であるイータテベイクじやがいも、いいたて雪っ娘かぼちゃの開発に関わった。	「いいたて雪っ娘かぼちゃ」の知名度を上げることと食文化の継承をしていきたい。今まで加工に重きをおいていたので、かぼちゃそのものの栽培にも力を入れていきたい。また、飯館村の避難指示区域が解除されるので飯館村に戻り、かぼちゃの実証栽培を行う予定である。
佐藤 ひろ子	南相馬市	直売所ではロールケーキ、シフォンケーキ、えごまクッキー等を販売している。宿泊のお客さんにはデザートで出すことも。	http://ameblo.jp/bloomworks/		鹿島区出身。実家は米農家。民宿を平成18年から開く。震災後休業していたがH25再開。家の両側の畑を買って、農業体験を行っている(米、大豆、ねぎ)昔は子連れが多かったが、現在はボランティア、工事関係のお客さんが多い。	いずれはカフェを開きたい。コーヒーとケーキを出す。郷土料理・家庭料理も提供したい。